

門型洗車機

EMINENT DELTA

洗淨・乾燥力・安全・耐久性を大幅にパワーアップ!
お客様の要望を高次元で実現する
エminentデルタがデビュー!

エminentデルタ RO-17D

●使用水量18L/台の
エコ洗車!

●洗車スピード
最速35秒/台

●5本スポンジブラシを
標準搭載

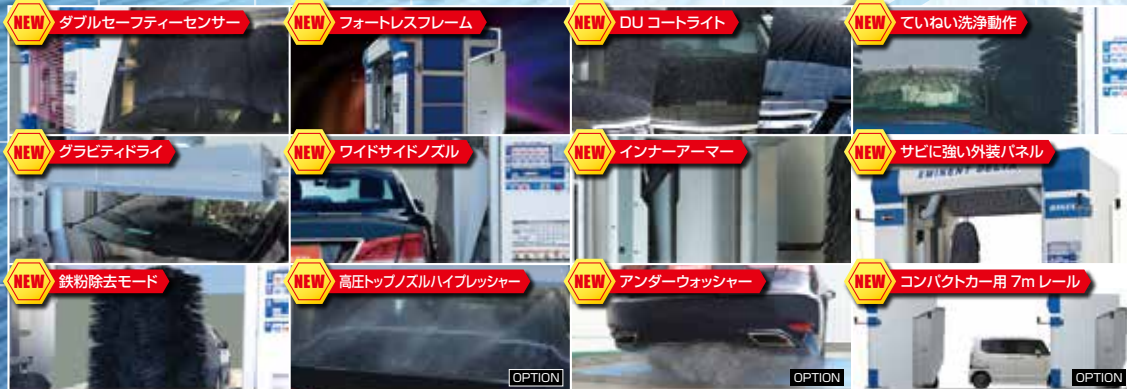
●シャンプー/DUコートライト/
DUコートを標準搭載

●業界初!
鉄粉除去モードを新開発

エminentデルタ
商品紹介動画(5分47秒)



エminentデルタは様々な **NEW** でお客様の要望を実現します



BANZAI NEWS

2017
Autumn
304

特集

BANZAI NEWS

時流を読む。

～次世代イノベーション! 問題解決思考のススメ～

自動車のエネルギーシフト元年に?

世界の潮流に変化への新たな方向を読む

BANZAI 株式会社 バンザイ

<http://www.banzai.co.jp>

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigyo@banzai.co.jp

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171
E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp

東京支店
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6840
E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201
E-mail: hirosima_br@banzai.co.jp

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡
郡山・山形・新潟・長野
前橋・宇都宮・水戸・埼玉
千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸
高松

営業部
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6881

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221
E-mail: sendai_br@banzai.co.jp

名古屋支店
名古屋市千種区青柳町6-26
TEL 052-732-2600
E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261
E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp

●出張所 帯広・函館・富山・松山
岡山・山口・山陰・長崎
大分・熊本

海外販売部
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6894

関東支店
埼玉県北本市朝日4-5-53
TEL 048-590-3700
E-mail: kanto_br@banzai.co.jp

大阪支店
大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041
E-mail: osaka_br@banzai.co.jp



ISO9001-ISO14001
自動車整備用部品・検査用機器の設計・開発・販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切に、
お客様満足度の向上を図ってまいります。



中野もみじ山の紅葉 ————— 青森県黒石市

青森県随一の紅葉の名所、黒石市の中野神社もみじ山公園。その昔、弘前藩九代藩主津軽寧親(やすちか)公により京都から移された100種を超える「かえで」と「もみじ」は、今では大勢の紅葉狩り客でにぎわう名所になりました。鮮やかな真紅と清流の美しさは冬を迎える前のひとときのページェントです。

★歳時記

- 10月 9日 体育の日
- 11月 3日 文化の日
- 7日 立冬
- 15日 七五三
- 23日 勤労感謝の日
- 12月22日 冬至
- 23日 天皇誕生日
- 25日 クリスマス



●目次

- ★特集 時流を読む。…………… ①
～次世代イノベーション! 問題解決思考のススメ～
自動車のエネルギーシフト元年に?
世界の潮流に変化への新たな方向を読む
- ★最新の自動車技術から「時流を読む」…………… ④
- ★モデルショップ訪問[三菱ふそうトラックバス株式会社 南関東ふそう 成田支店]… ⑥
「人」の働きやすい環境づくりと
地域の「灯台」となるサービス拠点を実現
- ★モデルショップ訪問[カワサキプラザ宇都宮インターパーク 株式会社 宇都宮メロ]… ⑧
「Kawasaki」ブランドから、モーターサイクルの
安心・安全で楽しいライフスタイルを提案
- ★ショールーム…………… ⑩
- ★TOPICS<海外情報・フィリピン>…………… ⑭
- ★ロータリー…………… ⑯
- ★BANZAIガイド…………… ⑰

特集 BANZAI NEWS

時流を読む。

～次世代イノベーション! 問題解決思考のススメ～

自動車のエネルギーシフト元年に? 世界の潮流に変化への新たな方向を読む



近年、世界に気候変動を及ぼしている温暖化の影響なのでしょうか、今年も地球環境の変化を思わせるような激しい気象現象や、それによる災害が国内外の各地で頻発した年になりました。それとともに自動車の未来をうかがわせるかのように、世界各国でエコエネルギーへのシフト、脱・化石燃料ともいえる動きが出始めてきました。

石油から電気へ？ エネルギーシフトの潮流

近代産業社会の画期的な発明の一つである自動車が、人々の手の届く大量生産商品として登場してほぼ100年。自動車は大きな基幹産業として経済を担い、また商品経済のなかで大きな役割を果たしてきました。

今年7月、イギリス、フランスの両国が2040年までにガソリン、ディーゼルを燃料とする新車の販売を禁止するという方針を発表しました。まだ20年以上先のこととは言っても、自動車にとっていよいよ大きな転換期が訪れるかもしれない、そんな時代の流れを予感させるニュースです。化石燃料から電気へ、新たなエネルギーシフトの可能性はカーメーカーにとっても、またアフターサービスに携わる私たち業界、そしてカーユーザーにとっても見逃せない世界の動向です。

今回の英仏の決定は、わずか2カ国とはいっても、ヨーロッパの2大国が大きな方針転換を発表したのですから、その影響は小さくありません。ドイツでもさらに英仏より前倒しすること10年、2030年を目途にEVシフトする議会決議へ向けて変化への流れを加速しています。さらに9月に入って、世界最大の自動車市場を擁する中国がこうした流れに合



わせるかのように脱石油、新エネルギー自動車へのシフトを検討すると表明したことから、NEV(新エネルギー車)の新しい流れが浮上してきました。

主要メーカーもEVラインナップ強化へ

これまでもヨーロッパでは地球温暖化防止と大気汚染防止の観点から、自動車に対して厳しい排気ガス基準を課してきたという流れがありました。トランプ大統領によってパリ協定からの離脱が表明されているアメリカでも、カリフォルニアをはじめ12州ではZEV(ゼロエミッション車)規制によりさらにガソリン車規制を強化する方向といわれています。今後、世界市場の大きな部分でNEV(新エネルギー車)とくにEVへの移行が鮮明になっていくことでしょう。

世界市場では昨年EVの累計販売台数が約200万台に達しているそうです。これは自動車市場全体から見ると微々たる数字に過ぎませんが、ここ数年の台数伸長には著しいものがあります。かつて画期的なエコカーとして登場したHVが20年の間に販売台数を飛躍的に伸ばしたことから見ても、2040年の市場におけるEVの大幅なシェア拡大が予想されても不思議ではないでしょう。今後、HVに拮抗してPHV、EVが市場に浸透していくという予測もあります。

さる9月12日に開幕した欧州最大規模の「フランクフルト国際自動車ショー」でも、とくに欧州主要メーカーのプレゼンテーションでEVへのシフトが鮮明になっているそうです。国内各社においても今後戦略的にEV開発への動きを加速していくものとみられています。

サービス業に求められる進化への対応力

このようなエネルギーシフトが現実のものとなった時、自動車のアフターマーケットはどのような形になっていくのでしょうか。もちろん、自動車が路面と接地して走行するものである以上はブレーキや足回りのサービスは不可欠です。むしろ燃費向上(走行距離延長)という、エコ本来の目的からすれば、これまで以上にホイールアライメントやボディアライメントの診断サービスは重要なものになっていくはずですよ。そしてそのほかの部分についても、エンジンとモーターという機構こそ異なるものの、診断とトラブルシューティング、予防整備提案へのプロセスは変わることがないでしょう。これまで自動車の急速な進化に対応し、自動車サービス業として築き上げてきたサービスの根幹は不変なのではないでしょうか。

そして、自動車の世界で起こりつつあるもうひとつの変化は、電子化からさらに進んだIT化、すなわち究極の電子制御ともいえる自動運転化への潮流です。本特集でもたびたびご紹介しているように、すでに数々の安全運転支援システムが搭載されたASV(先進安全自動車)が現実のものとして登場しています。こうした技術進化のスピードを考えればまだいくつものハードルが立ちまわっているレベル3、レベル4の自動運転技術も遠い未来のものではありません。問題は、こうした技術革新への対応力を磨き、新しい変化にも対応できる診断技術と能力を身に付けていくか、それが私たちサービス業界における課題といえるでしょう。

目前に迫る、自動車サービスの未来展望

2020年に迫った東京オリンピック、パラリンピックも視野に、時代は新たな変革期を迎えようとしているかのようです。自動車の歴史でいえば、米国のモータリゼーションから1世紀、日本のモータリゼーションから半世紀を経て、自動車とサービスの分野でも大きな変化の時を迎えようとしています。より地球環境に優しいクルマ、より人に優しいクルマ…、私たちのパートナーとしてのモビリティであるクルマがどのような形に進化しようとも、クルマとカーオーナーの接点に立つサービスの役割は不変です。いや、むしろこれまでより大きな使命を担うものになることは間違いありません。時代の変化を的確にとらえて、問題解決の視点に立って思考し積極的なイノベーションを実践していくこと、そこから新しい自動車サービス業の未来が見えてくることでしょう。

2017年、「時流を読む。」をテーマにお届けしてまいりました本特集シリーズも最終回です。本年もご愛読ありがとうございました。



レベル3自動運転の実用化は目前。だからこそ快適に「走る・曲がる・止まる」ための整備・修理がより大切になります！

加速・減速・操舵を自動で行うがシステムが要請した時はドライバーが操作する「レベル3自動運転」が、限定的ながら早くも2018年に実用化される見込みとなりました。また、単一車線自動運転や自動駐車を可能にする技術が自動車メーカー各社から矢継ぎ早に発表されており、こうした高度なADAS (Advanced Driver Assistance System. 先進運転支援システム) が遅からず普及する兆しを見せています。連載第2回の今回は、これら高度な予防安全技術を搭載した車両における整備・修理の重要性について考察します。



「アウディAIトラフィックジャムパイロット」で高速道路を走行する新型アウディA8の開発車両

レベル3自動運転が実用化される日は、もう目前にまで迫っています。

アウディが7月に発表した新世代のフラッグシップサルーン・4代目「A8」には、中央分離帯のある比較的混雑した高速道路を60km/h以下で走行中に、発進、加速、ステアリング、ブレーキの各操作を自動で行う「アウディAIトラフィックジャムパイロット」が採用されました。

このシステムでは、直前に他のクルマが割り込んできても問題なく対応でき、ステアリングから手を放した

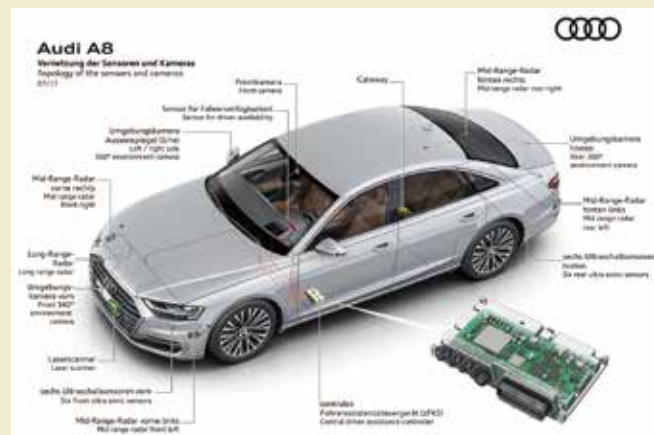
ままでも自動運転は継続され、その国の法律で許されれば車載テレビを視聴するなど運転以外の行為をすることも可能となっています。

なお、ドライバーの疲労や居眠りを検知した場合や、走行速度が60km/hを超えるか、渋滞が解消して自由な走行が可能になった場合、システムが機能の限界に達した場合などには、ドライバーが自ら運転するよう促されます。

さらに新型A8には、専用アプリをインストールしたスマートフォンで車外からクルマを操作して、駐車



新型アウディA8に搭載されるADAS用センサー。左は世界初採用のレーザーセンサー



新型日産リーフと「プロパイロット」(中央)、「プロパイロットパーキング」(右)の作動イメージ

スペースまたはガレージへ自動で出入庫。入庫操作完了時にはATが自動的にPポジションに入り、エンジンとイグニッションがオフになる「アウディAIリモートパーキングパイロット」および「アウディAIリモートガレージパイロット」も用意されています。

つまり、状況が限られているものの、レベル3自動運転ができる状態まですでに達しているのです。なおアウディは、各国の法改正を待ちながら2018年以降順次実装していく方針を示しています。

ただし、「アウディAIトラフィックジャムパイロット」のようなレベル3自動運転の実用化についてはアウディが一步先んじることになりましたが、その手前にある自動車専用道路での単一車線自動運転や自動駐車は、すでに他の自動車メーカーも実用化しています。

昨年8月に発売された新型セレナに初めて搭載された大きな話題となった日産の「プロパイロット」は、その後エクストレイル、そして電気自動車の新型リーフに採用されました。なお、新型リーフには、車内にいる必要こそあるものの駐車開始から終了までを全て自動で行う「プロパイロットパーキング」が初めて設定されました。

単一車線自動運転はそのほか、ボルボが2月に日本へ導入した新型S90およびV90に採用した「パイロット・アシスト」、スバルが7月にマイナーチェンジしたレヴォーグおよびWRX S4に全車標準装備した「アイサイト ツーリングアシスト」、トヨタが9月にフルモデルチェンジした新型レクサスLSに初採用した「レーンレーシングアシスト」などでも実用化されています。

自動駐車については、BMWが2016年に7シリーズに

「リモート・パーキング」をオプション設定したことで初めて実用化され、メルセデス・ベンツも今年8月に日本でもマイナーチェンジされたSクラスに「リモートパーキングアシスト」でそれに追随しています。

このようなADASのために全方位にセンサーを装着したクルマは、センサーそのものではなくそれらがマウントされるバンパーやミラー、ホイールなどを脱着しただけでも故障コードが発生し、自動車メーカー指定のテスターとターゲット、水準器を備えた特殊工具などを使って初期化やエーミング(校正)作業を行わなければならない可能性があります。

ですが、それ以上に問題なのは、これらADASによってドライバーがステアリング・アクセルペダル・ブレーキペダルに触れ、運転に積極的に関与する機会が減ることで、不具合の予兆・発生を察知しにくくなることです。

そして、ADASが正しく快適に作動するには、各センサーからの情報を処理し制御する車載コンピューターからの命令を、クルマがいかにレスポンス良く忠実に挙動へ反映させるかが重要になります。

つまり、パワートレインやタイヤ、サスペンションを良好な状態に保ち、ホイールアライメントやボディの位置決めをメーカー規定の範囲内に収めることが、これからのクルマにはより一層高い次元で求められることになります。

そう、これからはクルマのプロである皆さんがもっと、カーオーナーの代わりに不具合の予兆・発生を察知するため、点検・整備を積極的に促し行う必要があるのです。



スバル・レヴォーグと「アイサイト ツーリングアシスト」の作動イメージ



メルセデス・ベンツSクラス「リモートパーキングアシスト」の作動イメージ

「人」の働きやすい環境づくりと 地域の「灯台」となるサービス拠点を実現

三菱ふそうトラック・バス(株)では全国に展開する販売・サービス網のリニューアルの一環として、昨年、南関東ふそう成田支店の店舗・サービス工場を一新。同社の新たな店舗コンセプト「ライトハウスプロジェクト」の第1号拠点として、店舗イメージの統一、最新設備の導入など、地域の旗艦店舗としてのリニューアルを実現しました。



キャノピーとサービスフロントの外観



グレーを基調とした外観デザインに統一



真紅のスリーダイヤを掲げたサインポール



成田支店長
野々宮 雅之 氏



成田支店 整備工場長
平石 義博 氏

全国の支店に先駆けて新コンセプトを導入

成田市街の北東部に位置する工業団地の一角にある成田支店は、同社の新しいブランドイメージを発信する黒とグレーを基調とした外観、および内部デザインの統一のほか、顧客満足度向上を目的としたラウンジなど各種設備の導入など、「ライトハウスプロジェクト」のコンセプトに基づきリニューアルを実施されています。これは販売・サービスの拠点として、地域の「ライトハウス(Lighthouse)=灯台」として位置付けられる旗艦店を意味するものです。サービスにおいては各種リフトの導入などによる作業環境の改善、整備エリアの高効率化などのほか、ストールごとに設備されたカメラとマルチモニターによる作業状況の可視化、またメガネ型ウェアラブル端末「スマートグラス」の採用により、同社テクニカルインフォメーションセンターと連携して作業品質の向上を実現されています。

新環境でサービスの高効率・高品質化へ

サービス工場は14ストール、パワーツインエース、フロアリフトをはじめとする省力化、効率化設備を導入、さらに各種の周辺設備により作業環境の改善と業務の効率化・高品質化が図られています。

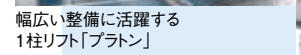
「お客様にとって商用車は仕事のための道具です」と、支店長の野々宮雅之氏。万一の故障、不具合は顧客、荷主の信頼を失うことにもなりかねません。そのためにもサービスの高効率化とともに、高品質が不可欠です。「いかに質の高い仕事を、いかに短い時間で提供できるか、そのためには設備機器が不可欠です」(同)とのこと。サービスストールのほか、今回実現された「働きやすく、清潔な作業環境」はこうしたサービスの品質面にもつながっているとのことです。



広い中央通路で出入庫も容易に



パワーツインエースとホイールドローリーで省力化、効率化を実現



幅広い整備に活躍する1柱リフト「プラトン」



整理整頓を徹底



各ストールの壁面に「マルチモニター」を設置



ゆったりとくつろげるラウンジ。女性専用ラウンジも



ラウンジからサービス工場を望む



高い技術力の証し、認定メカニック証



商談コーナーも落ち着いたデザインに



ブレーキ・スピードメーターテスター、フリーローラーを設備した検査ライン



正確、確実な検査がコンプライアンスの要



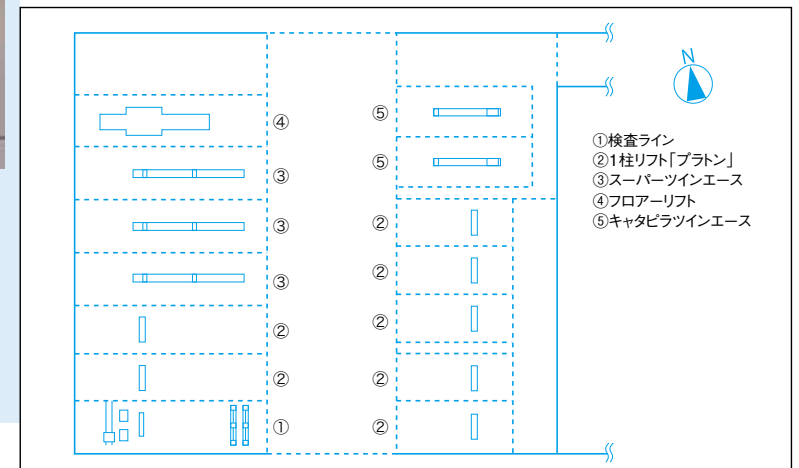
建屋一体型の塗装ブース

技術向上、人材育成にも意欲的な取り組み

また顧客満足度(CS)向上のための施策として、今回お客様の待合室を落ち着いたラウンジのイメージとし、2階からサービス工場を見下ろせるようにレイアウトしました。それとともにストールごとに配置したマルチモニターにより作業状況を「見える化」し、サービスの信頼感、安心感の向上につながる取り組みを行っています。

また一方、車両技術の高度化などを背景に、販売とサービスの両面で「人」の能力がさらに求められることから、スタッフに対する教育システムも充実。「ふそうアカデミー」での研修制度により知識、技能を段階ごとに修得し、資格制度に反映されています。

「最新の環境が実現したことで従業員のモチベーションにもつながっています」と整備工場長の平石義博氏。今後はES向上を顧客のCS向上につなげ、さらに会社への利益貢献に結び付けていくことが目標とのこと。



「Kawasaki」ブランドから、モーターサイクルの 安心・安全で楽しいライフスタイルを提案

カワサキモーターサイクルの正規取扱店、(株)宇都宮メグロではこのたび宇都宮市郊外の大規模ショッピングモール「宇都宮インターパーク」に新店舗を開設。販売からアフターサービスまで、安心・安全で楽しいモーターサイクルのライフスタイルを提案する新たなショップコンセプトのもとに「カワサキプラザ宇都宮インターパーク」としてオープンしました。



黒を基調とした外観にライムグリーンのブランドシンボルをデザイン



ショールームと右手のサービスショップ外観



休日には渋滞になるほどの「インターパーク」に立地



小型から大型までのカワサキモデルをフルラインナップ



ファッションも含めたライフスタイルを提案



ブランドグッズを取り揃えたアパレルコーナー

新コンセプトのブランドショップ誕生

同社は昭和9年、代表取締役関澤光男氏の祖父の代にモーターサイクルの販売、整備店として創業。以来現会長の春男氏を経て三代、83年間にわたってメグロ、カワサキの正規取扱店としてモーターサイクルの販売、サービスを手掛けてこられました。この間、平成9年には指定を取得、モーターサイクル専門としては栃木県で唯一、全国でも9番目の民間車検工場としてユーザーの安心・安全なモーターサイクルライフをサポートされてきました。

今回の店舗計画にあたってはカワサキモータースジャパンが新たに展開するブランドショップ「カワサキプラザ」店として、ショールームからサービス工場まで一貫して新しいショップデザインとコンセプトが導入されています。



カワサキファンにアピールするフラッグシップモデルも展示



代表取締役
関澤 光男 氏

日常点検から整備まで 全てのサービスに対応

本年6月に宇都宮インターパークの一角にオープンした新店舗は、黒を基調にライムグリーンをアレンジした外観のショールームとサービス工場を併設。店舗、工場の規模や内外装のデザイン、ショールームの部材はもちろんサービス工場、バックヤードの設備まで、ブランドショップとして求められる基準を満たしたものとなっています。そのショップ要件の一つには「指定工場の取得」が掲げられており、中型、大型二輪車までを対象に、日常点検から車検までの安心・安全なサービスを提供できることが目的とされています。ブランドショップの厳しい基準をクリアする中で「すでに指定工場として20年のキャリアがあるので、その部分では有利でした」と関澤社長。「カワサキはとくに大型車のイメージが強いブランドなので、フルラインナップを取り扱えることが強みになります」と今後のブランド戦略に期待されています。



サービス工場の外観、右端が検査場



コンビネーションテスターほか検査場設備を完備



モーターサイクルリフト3基を設備



ガラス張りのオープンなサービスピットに



サービス工場が見える待合コーナー



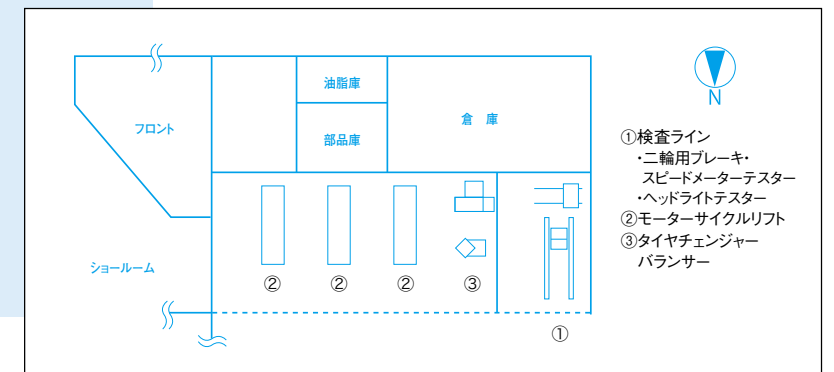
グレーと木目の統一デザインを導入

新しいモーターサイクルライフ、 情報発信の拠点に

「モーターサイクルは非常に趣味性の強い商品です」と関澤社長。ハードとしてのマシンだけでなく、ソフトの面も充実することによって、より楽しみの幅が広がるということです。そのためショールームには小型から大型まで多数のモデルを展示しているほか、モーターサイクルライフを楽しむためのファッションアイテムやグッズを取り揃えたアパレルコーナーも設けられています。

またサービス面では、安全と快適性をサポートする整備技術だけでなく、法令順守の中でのカスタマイズ提案など、様々な情報発信やアドバイスを提供することも求められます。

「一般的にはまだまだ危ない乗り物というイメージを持たれていたり、せっかく買ってしまったのにカバーを掛けただけでいたり、そういう幅広い人々に対して、楽しいモーターサイクルライフを提案していく、そういう拠点にしていきたいですね」と新店舗にかかる期待を述べられています。



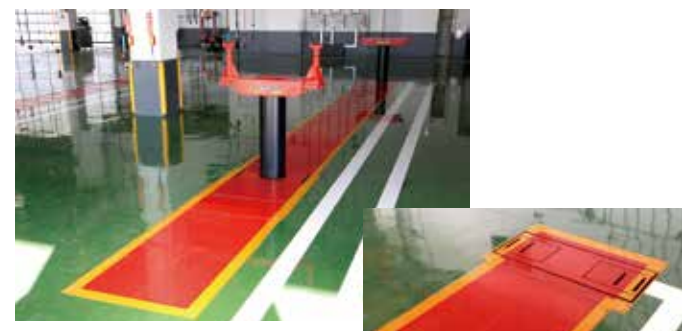
SHOW ROOM

SHOW ROOM

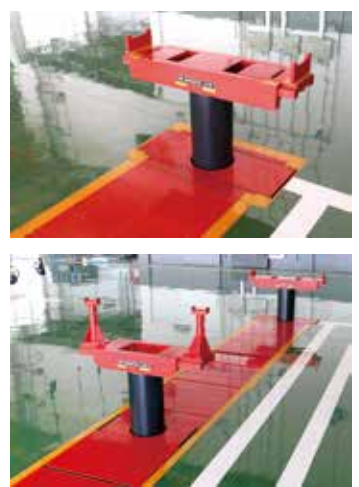
【大型車用リフト】 折畳収納式 キャタピラツイーンエース

独自のキャタピラ折畳み方式
整備工場内のフラット化により
作業性向上と事故や危険を削減

- 足元をフラットにし、作業の効率化・環境向上に貢献
- ショートホイールベースから対応
Min2,400mm~Max9,000mm
- 各種の安心機構を採用
 - ・ポスト内にラック&爪方式のロック機構内蔵
 - ・オートパワーOFFで誤操作を防止
 - ・操作回路自己診断機能
 - ・その他



型 式	WSL-PS S303S	WSL-PS S303SFK	WSL-PS S303S-S	WSL-PS S303S-SFK
能 力	15ton+15ton			
対 象 車 両	小型~大型トラック・大型バス			
揚 程	1,500mm		1,300mm	
フ ラ ッ ト キ ャ ッ ト	無	有	無	有
上 昇 時 間	約105秒/約87秒(50/60Hz)		約91秒/約76秒(50/60Hz)	
ポ ス ト 径	φ267mm			
リ フ ト 間 距 離	min2,400~max9,000mm			
リ フ ト 移 動 速 度	約4.2m/min (50Hz)、約5m/min (60Hz)			
駆 動 方 式	電動油圧 (高圧油圧シリンダー)			
電 動 機	油 圧 用	AC200V 三相 2.2kw×2		
	移 動 用	AC200V 三相 0.4kw×2		
動 力 源	電 源	AC200V 三相 4.4kw以上 50/60Hz		
	エ ア ー	-	0.5~0.7MPa	-



【大型車用リフト】 連節バス対応】 3柱式ツイーンエース

連節バスも余裕でリフトアップ!

- 能力45ton 大型車をらくらくリフトアップ!
- 床面フラット! 作業の安全・効率化に貢献
 - ・独自のキャタピラ式スライドカバーを採用
 - ・車両の乗込み・退出も容易、周辺機器の移動もスムーズ

型 式	TSL-PSCT452S(FK)シリーズ	
能 力	15ton+15ton+15ton	
対 象 車 両	小型~大型トラック・大型/連節バス	
揚 程	1,500mm	
上 昇 時 間	約79秒/約68秒 (50/60Hz)	
リ フ ト 間 距 離	A-B間 min2400~max8200mm B-C間 min2800~max11100mm A-C間 min11000~max13500mm	
モ ー タ ー	油 圧 用	AC200V、三相、2.2kw×3
	移 動 用	AC200V、三相、0.4kw×2
動 力 源	電 源	AC200V、三相 48A以上
	エ ア ー	0.5~0.7MPa



【大型車用リフト】 フロアーリフト BFLシリーズ

クイックサービスから重整備まで、
大型車サービスの効率化と安全な環境を実現!

- 大型トラック・バスも入庫が容易!
- 用途に合わせて選べるバリエーション!
 - ・2分割~3分割テーブル
整備用途に応じて1連式に加え2分割、3分割テーブルが選択可能です。
 - ・階段
自動昇降式階段でリフトへの安全な昇降が可能です。
 - ・回転収納式ペダルスイッチ
操作ペダルはワンタッチで回転。未使用時は収納して不用意な作動を防止できます。
- 万全の安全装備
 - ・挟み込み防止光電管
リフト上昇時にスラブとリフトテーブル間への足や物のはみ出しを光電管で検知し、自動停止により挟み込みを未然に防止。
 - ・セーフティバー
ピット内での作業時にリフト下降によるピット床とテーブル下面の間の挟み込みを未然に防止。
 - ・ピットリフト(オプション)
部品の脱着等に作業性の良いピットリフトの装備が可能です。



■仕様:テーブル幅750mmモデル

型 式	BFL-075-040-175	BFL-075-060-175	BFL-075-120-175	BFL-075-060-225	BFL-075-120-225
テ ー ブ ル 寸 法 (mm)	長さ 4,000 幅 750	長さ 6,000 幅 750	長さ 12,000 幅 750	長さ 6,000 幅 750	長さ 12,000 幅 750
ス ト ロ ー ク (揚 程) (mm)	1,750		2,250		
積 載 重 量 (等 分 布 荷 重) (kg)	2,500				
電 源 (V)	AC200 三相				
モ ー タ ー (kW)	2.2		3.7		5.5
操 作 方 法	フットペダル・制御盤面操作スイッチ				
ピ ッ ト 幅 (mm)	800				

■仕様:テーブル幅1000mmモデル

型 式	BFL-100-040-175	BFL-100-060-175	BFL-100-120-175	BFL-100-060-225	BFL-100-120-225
テ ー ブ ル 寸 法 (mm)	長さ 4,000 幅 1,000	長さ 6,000 幅 1,000	長さ 12,000 幅 1,000	長さ 6,000 幅 1,000	長さ 12,000 幅 1,000
ス ト ロ ー ク (揚 程) (mm)	1,750		2,250		
積 載 重 量 (等 分 布 荷 重) (kg)	2,500				
電 源 (V)	AC200 三相				
モ ー タ ー (kW)	2.2		3.7		5.5
操 作 方 法	フットペダル・制御盤面操作スイッチ				
ピ ッ ト 幅 (mm)	1,050				

■階段仕様

型 式	BFL-K075-6	BFL-K100-6
階 段 幅 寸 法 (mm)	750	1,000
階 段 部 長 さ (mm)	1,500	
段 数	6	
適 合 リ フ ト 本 体	ストローク 1,750mm用	
耐 荷 重 (kg)	1段当り 100	

SHOW ROOM

【門型洗車機】 エminentデルタ RO-17D

洗浄・乾燥・安全性をさらに進化!
耐久性も大幅に向上、新デザインでデビュー!

- 最短コースで使用水量18L/台、洗車スピード85秒を実現
洗車・乾燥工程のムダな動きを極限までなくして洗車スピードを向上。洗車台数、処理能力をアップしました。
- 洗浄力アップ! 拭き上げ時間を短縮!
・植物由来の「パームシャンプーeco」で環境負荷を低減。
・環境対応撥水コーティング「DUコートライト/ DUコートecoⅢ」で仕上げの拭き上げ作業時間を短縮します。
- 乾燥性能もさらにアップ!
・重力を味方にした強力ブロー乾燥「グラビティドライ」、全長を100mm大型化した「ワイドサイドノズル」で乾燥力を強化!
- 「ダブルセーフティセンサー」搭載で安全洗車!
・22対多軸光電センサーと電流検知制御センサーの異なる安全装置を搭載。ミニバンから軽自動車まで安定したブラシ圧で洗車可能。今までにない安全洗車を実現しました。

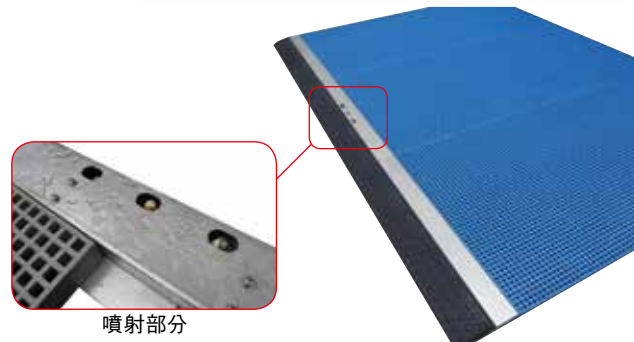


型 式	RO-17D
ブ ラ シ	マシェル32 (スポンジブラシ)
車 両 検 出	22対多軸光電センサー+TB電流検知
洗車可能寸法 (mm)	W2,300×H2,300×L5,000 (ワンボックス、ミニバン、ジープは幅2,200)
本 体 寸 法 (mm)	W3,600×H2,750×L2,340
レ ー ル 長	7.8m

【温水洗車機/下部洗浄機】 アンダーウォッシャー KHW-1600UW

温水洗車機と下部洗浄機を簡単切り替え!
設置も容易な2way洗車・下部洗浄システム。

- FRPグレーチングにはめ込むだけ! 設置が簡単です
・FRPグレーチングと組み合わせることで設置を容易にしました
- 温水と3つの広角ノズルで車両下部を徹底洗浄!
・下部洗浄機はリモコンで制御可能
・タイマー方式によるオートOFF機能搭載
- バルブ操作で下部洗浄/ガン洗浄を切り替え可能



型 式	KHW-1600UW
洗 浄 幅 (mm)	約920 (地上高150mm時)
吐 出 温 度	常温~80℃
吐 出 量 (L/h)	約1,500 (無負荷時)
吐 出 圧 力 (MPa)	約8

SHOW ROOM

ヘッドライトテスター HT-319シリーズ

画像目視式のフルモデルチェンジ

業界初!!
新機能「上下位置ガイドライン表示機能」搭載!

LEDパルス制御対応

- ▶ **業界初!!** すれ違い灯のカットオフライン
上下位置のガイド機能を搭載 ※1
 - ▶ **業界初!!** 従来のCCDカメラから高性能のC-MOSカメラへ変更。
 - ▶ 17インチカラー液晶モニターを採用して視認性向上。(従来は8.5インチ)
 - ▶ ライト調整に必要な工具をまとめて収納できる「工具ボックス」を標準装備。
- ※1 画像手動式のすれ違い灯カットオフライン上下位置をラインで表示。
(サポート機能のため、測定値・高さの表示は無し。測定ボタンを押している間だけライン表示。)

最新型ヘッドライト(LED)にも対応!

カラーCCD(C-MOS)、視感度補正フィルターによりどの色のライトにも対応できます。

クロスラインレーザー全機種標準装備!

ランプ正対がクロスラインレーザー機能でさらに使いやすくなりました。(PAT)

ランプ正対マークがない車両にも対応可能!

全機種ともランプ影像ファインダー(画面)を標準装備しています。

取付高さ25cm対応!

全機種ともフォグランプ取付高さ25cmから測定可能です。

型 式	HT-319シリーズ	
測 定 距 離 (m)	1	
測 定 方 式	手動式 (画像目視)	
指 示 範 囲	光 度 測 定 範 囲 (cd)	0~120,000
測 定 範 囲	照 射 方 向 (cm/10m)	走 行 灯 上20~下35 左35~右35
		す れ 違 い 灯 上20~下35 左35~右35
測 定 範 囲	ラ イ ト 取 付 高 さ (cm)	25~120



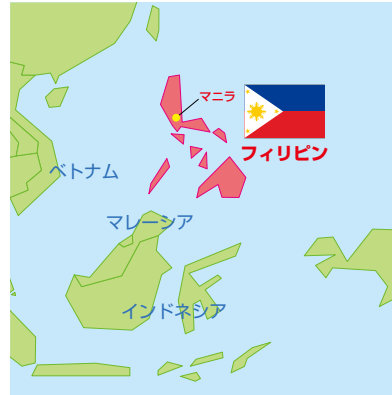
OBDIIコードリーダー TPM-i-BZ

OBDIIコードリーダーとメンテナンスソフトが一体になった!
メカニック一人に一台の診断+作業サポートツール。

国産・輸入車・トラック、全17メーカー対応!

- グローバルOBDII&リプレイモード
保存したデータモニタや故障コード結果の内容を本機上で再確認できます。
- 国産乗用車ソフト・輸入車ソフト (標準ソフト)
故障コードの読み取り/消去から日常点検に必要なタイヤ、オイル、バッテリー、ブレーキの交換時の作業をサポート。
・オイル: 油温確認、電動オイルポンプエア抜き等
・バッテリー: 放電電流積算値リセット等
・ブレーキ: EPBパッド、ABSオイルエア抜き等
- 国産トラックDPFソフト (オプション)
複雑なDPF強制再生作業を一連の流れで行える、画期的な機能を搭載。(トラックはDPF強制再生機能のみとなります)
・車両修正ホットライン1年付き
車両修理に関するサポートセンターを1年間利用できます。





■幅広い職種で 技能実習生を育成

フィリピンの職業訓練学校「Phil-Nippon Technological College (PNTC)」では本年9月、自動車整備の技能実習生の育成にあたる技能教育センターを新たに開設しました。同校は首都マニラの南方約50キロに位置するラグナ州カランバ市に本拠を置き、自動車整備のほかエレクトロニクス、機械加工、溶接、塗装、クレーンなど幅広い専門分野の教育に携わっています。



大型車整備の実習にキャタピラツインエースを導入

■充実した設備で高度な技能教育を実施

同校では主に19～26歳、高校卒業以上の男女を対象として、卒業後、日本での実習プログラムへの参加を前提として学費無料、奨学金制度などの優遇制度を設けています。主な教育内容は半年間の日本語教育と半年間の整備教育を修了したのち、日本での3年間の実習を行うこととなっています。今回開設された教育センターは同市内に新たに建設され、大型車から小型車までのサービス実習、および座学のための高度な設備を備えています。バンザイからはキャタピラツインエース、ツインエースミニ各1基のほかホイールドーリー、油圧プレス、部品洗浄台、オイルドレンなど、各種機材を現地の代理店エミコール社 (Emicor Inc.) を通じて納入しました。



キャタピラツインエースミニほか最新の設備機材を完備

■日本・フィリピンの メカニック育成に期待

フィリピンはわが国企業においても優秀な人材の送り出し国として注目されており、同校からもすでに各職種で累計9,000人もの卒業生が技能実習生として日本に迎えられています。今後は自動車整備においても、わが国とフィリピンの自動車サービスを担うサービスメカニックの育成機関として、さらに優秀な人材の育成が期待されています。



温水洗車機、部品洗浄台などサービス工場同様の周辺設備



エンジン、ミッションなど実習機材も充実



日本での技能実習生として活躍するエンジニアを養成



技能教育センター
自動車科講師
當山 努氏
からのメッセージ

日本・フィリピンの 自動車サービスの架け橋に…

これからの日本の自動車業界では、整備士の不足から自動車の安全が揺らぐおそれがあるのではないかとされており。そこで、私どもPNTCではフィリピン人自動車整備士の育成に力を入れ、日本の現場で仕事ができるよう、機器・工具、教材等を実際に現場で使われているものを使用し、より実践に即した実習を行っています。

そして彼らの活力で日本の整備業界に貢献できればと考え、これからの日本の自動車業界の活性の一助として、またフィリピンのモータリゼーションの発展のため、国際的な協力関係のもと、明るく元気で優秀な卒業生をより多く輩出してまいります。

MSC経営戦略会議 第114回研究会を開催

■環境変化をとらえた研究活動を展開

1978年の設立総会・第一回研究会の開催以来、自動車サービス業を取り巻く様々な環境変化に対応し、経営戦略構築のための情報交換、会員相互の研さんの場として研究会活動を展開してきたMSC経営戦略会議は、さる9月13日、14日の2日間にわたり、熊本市において第114回研究会を開催しました。今回は見学先の同市内、ダイハツ東部の代表取締役、丸山立紘氏による事例発表と賛助会員のあいおいニッセイ同和損害保険(株)と(株)バンザイの賛助会員報告、ならびに同市内の本田技研工業(株)熊本製作所の見学を中心に2日間の研究活動が行われました。

■ハイレベルな顧客対応を实践

第1日目は丸山社長の事例発表ののち、ダイハツ東部の新店舗に移動。今年3月、熊本市健軍の幹線通りに面してオープンした新店舗は、ゆったりとした店舗、ショールームに6ストールのサービス工場を併設し、来店しやすい店づくり、くつろぎの空間演出によりお客様をお迎えする体制を実現しています。またご来店から商談までの流れをフロント、オペレーター、サービススタッフが「来場顧客管理ログシート」に基づいてお客様にきめ細かく配慮し、対応するハイレベルなオペレーションを実践されています。

■ホンダの高度な品質管理に学ぶ

2日目は本田技研工業(株)の熊本製作所を見学。ホンダ二輪車のエンジンや各部品の生産から組み立てまでを一貫して行う高効率の生産システムと、すべての製品を厳重なチェック体制のもとで市場へ送り出す高度な品質管理に、参加会員から高い関心が寄せられていました。



開会の辞を述べる
議長、山崎太氏



事例発表を行うダイハツ東
部代表取締役、丸山立紘氏



新店舗での取り組みを紹介する
店長、井上研作氏



幹線道路に面した
ダイハツ東部の外観



インテリアは木目を生かし、
明るくくつろげる雰囲気



明るく広々としたショールーム



本田技研工業(株)熊本製作所で、二輪車の生産工程を見学



サービス工場が見られる
ガラス張りの待合コーナー



清潔で作業効率の良い
6ストールのサービス工場

BANZAI GUIDE

「安全啓蒙セミナー」 ご好評のうちに、各地で開催中

●日々の整備作業の中で、事故は発生しています!

自動車サービスの作業にともなう事故は意外に多く発生しています。その中でも多数を占めているのがリフトなどの整備機器に関わる事故で、人の怪我や車両の損傷にもつながりかねません。

●一人ひとりの取り組みで事故を防止しましょう!

事故の原因には機器の「取扱い不良」と「点検の不履行」が大部分を占めています。そのため安全な整備を行うためには、整備機器の正しい使用と日常点検の実施が不可欠になります。

●事故防止のため、セミナーにご参加ください!

バンザイでは整備機器を安全に使用していただくため、「安全啓蒙セミナー」を各地で開催しています。一人ひとりが正しい知識を持ち、安全な作業への取り組みを全社で展開していただくため、ぜひ本セミナーにご参加ください。

※「安全啓蒙セミナー」の詳細につきましては最寄りのバンザイ各事業所へお問い合わせください。



安全作業へ向けて情報を提供



事故防止への取り組みを推進



データをもとに事故防止をアピール



日常点検のポイントを実際の機器で解説



機器の正しい使用で事故を防止

編集後記

＜今井＞



近年の店舗工場は、環境・デザインと機能性の調和がより重要になってきたと感じる。そこで働く人たちにとって誇れる企業・工場にしてい、そのためには整理整頓とメンテナンス

の必要性を意識づけるための啓蒙が欠かせない。社員教育の重要性を真摯に受止め、実践していく企業がこの先も残っていくと思う。